

# 国立精神・神経医療研究センター病院にて L-dopa テストを受けたことがある方へ

このたび、国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経内科診療部入院中に実施した L-dopa テストに関連する診療情報等の一部について、下記の研究を行います。この研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、利用目的等を含む研究の実施について、情報を公開いたします。

この研究に対し診療情報等を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供してほしくないと申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはございません。

## 1. 対象となる方

2004 年 4 月 1 日より本研究(2026 年 4 月倫理申請)実施許可受領までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経内科診療部で入院中に実施した L-dopa テストの検査を受けた方

## 2. 情報を用いる研究課題名と研究責任者

研究課題名:L-dopa 製剤の薬物動態に影響する因子の検討

研究期間:研究実施許可受領後~2031 年 3 月 31 日まで

研究責任者:国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経内科診療部 向井洋平

## 3. 利用する情報と取得方法について

情報等:年齢、性別、診断名、L-dopa テストの検査結果、治療薬、罹病期間、臨床症状など  
(取得方法) 診療録から入手

## 4. 試料・情報の利用目的及び利用方法

パーキンソン病・関連疾患の患者様の薬物治療においては L-dopa 製剤が中心となります。当院では血液中の dopa 濃度と、患者様の症状の経時的変化で L-dopa 製剤の効果を評価する「L-dopa テスト」を診療の一環として行っています。L-dopa 製剤の吸収は個人差が大きく、また服薬条件によってその効果が変動しますので、一人ひとりにあわせたオーダーメイドの治療を行うために、このような検査をして診療に生かしています。

2004年4月から 2031 年 3 月までの期間に当科で行った L-dopa テストの結果および治療結果をまとめて解析する研究「L-dopa 製剤の薬物動態に影響する因子の検討」を行っております。皆様一人ひとりの結果をその方の治療に生かすだけでなく、多数の方の L-dopa テストの結果をまとめて解析することで、すでに検査をされた方にも、まだ検査をされていない方にも有益な情報を得ることができ、当院のみでな

く多くの患者さんの薬物調整に役立たせることができると考えています。この研究では検査の結果にその他の診療情報を加えて解析いたしますが、それらがどなたの情報なのかはわからない形にして解析します。ですから、皆様のプライバシーが侵されるなど、皆様にご迷惑がかかることはございません。なお本研究は厚生労働省の疫学研究に関する倫理指針に従って内容を公開いたします。

当院で入院中にL-dopa テストを受けられた方で、この研究にご自分のデータを使ってほしくないとお考えの方や、ご質問等あります方は下記までご連絡ください。

## 5. 利用を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

## 6. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名：国立精神・神経医療研究センター病院

所属：脳神経内科診療部 氏名：向井洋平

電話番号：042-341-2711(内線:3193)

e-mail: ymukai@ncnp.go.jp